

## 三重県居住支援連絡会の取組について

### 三重県県土整備部住宅政策課

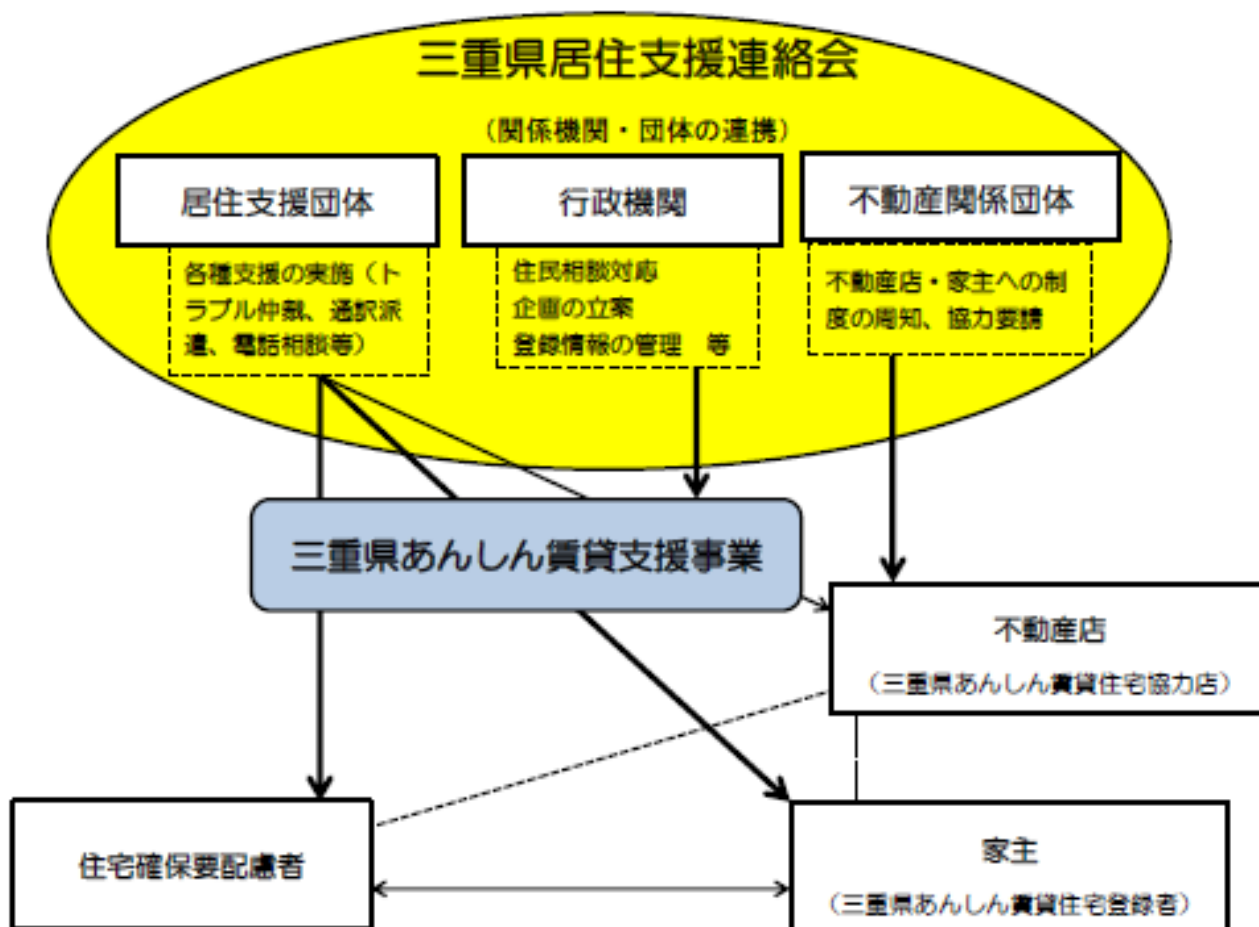
#### 1 概要

空き家問題が顕在化する中、民間賃貸住宅の空き戸数は空き家総数の4割以上を占める状況があり(H25住宅・土地統計調査)、一方では要配慮者への偏見や、トラブル(騒音、マナー、孤独死等)や家賃滞納の懸念等により、要配慮者の入居を拒む家主が存在します。

そのような中で、H19年度から国主導で住宅確保要配慮者向けの住宅を登録する「あんしん賃貸住宅支援事業」が行われていましたが、事業再編により同事業はH22年度で終了しました。

そこで、本県では、平成23年1月14日に「三重県居住支援連絡会」を9団体で立ち上げ、事業を開始しました。

その後、四日市市、伊賀市、名張市、津市等に取り組が広がり、現在は19団体(うち、2団体はオブザーバー)が加入し事業を実施しています。



## 2 参加団体と役割

	団 体 名	役 割	
関係団体 不動産	◎三重県宅地建物取引業協会	要配慮者向け住宅の案内・仲介 (不動産店経由)家主への協力依頼・啓発 協力する不動産店との連絡調整	
	◎全日本不動産協会三重県本部		
居住支援団体	◎愛伝舎 ハートピア三重	外国人の生活支援・相談対応	
	◎三重県精神保健福祉会 (さんかれん)	精神障がい者の支援	
	◎鈴鹿市社会福祉協議会	高齢者・障がい者の支援、相談対応 市の福祉担当(生活保護等)との連携	
	◎亀山市社会福祉協議会		
	伊賀市社会福祉協議会		
	名張市社会福祉協議会		
津市社会福祉協議会			
行政	◎鈴鹿市	H21 から活動、当初から参加	副会長 【持ち回り】 (1名)
	◎亀山市	当初から参加	
	四日市市	H23 年度加入	
	伊賀市	H26 年度加入	
	名張市	H26 年度加入	
	津市	H28 年度加入	
	◎三重県	連絡調整、企画立案、予算管理	会長

◎は当初 (H23. 1. 14) から加入

□オブザーバー参加 (桑名市社会福祉協議会、桑名市)

□定例会議

- (1) 全体会議 (年 2 回)
- (2) 作業部会 (年 3 ~ 4 回)

### 3 主な取組の状況

#### (1) 立ち上げ当初の取組

##### ①全国会議の開催

居住支援協議会の全国会議を鈴鹿市で開催（平成 23 年 2 月）

##### ②外国人居住実態調査

外国人の現在の住まいの環境、希望する住まいの規模・家賃等についての調査を実施（平成 23 年度）

##### ③高齢者居住実態調査

平成 22 年度 アンケート調査（対象：居住介護支援事業所介護支援専門員、包括支援センター相談員計 169 名、回収率 62.7%）

平成 24 年度 聴取調査（対象：ケアマネージャー、内容：高齢者の住環境(バリアフリー対応等)、希望する住まいの規模・家賃等、委託先：三重大学）

#### (2) 三重県あんしん賃貸住宅支援事業の実施

国の「あんしん賃貸住宅支援事業」の終了を受け、県が登録機関となり引き続き登録制度を実施しています。

##### 【取組状況】（H29.8月末現在）

協力店 66 店舗 登録住宅 603 戸

#### (3) 住宅相談会

公共施設やショッピングセンター等において、不動産店による物件情報紹介、福祉・生活相談等を実施しています。

##### 【取組状況】

平成 22 年度 鈴鹿市（2 回 143 名）

平成 23 年度 鈴鹿市（3 回 46 組）

平成 24 年度 四日市市（1 回 19 組）、鈴鹿市（1 回 15 組）、亀山市（1 回 15 組）

平成 25 年度 四日市市（1 回 7 組）、鈴鹿市（2 回 24 組）、亀山市（1 回 13 組）

平成 26 年度 四日市市（1 回 3 組）、鈴鹿市（1 回 3 組）、亀山市（1 回 2 組）

平成 27 年度 四日市市（1 回 11 組）、鈴鹿市（1 回 5 組）、亀山市（1 回 1 組）

平成 28 年度 四日市市（1 回 4 組）、鈴鹿市（1 回 4 組）、亀山市（1 回 2 組）、伊賀市（1 回 15 組）

#### (4) あんしん賃貸住宅協力店との意見交換会

あんしん賃貸住宅支援事業協力不動産店と、居住支援連絡会会員団体との意見交換会を実施しています。

##### 【取組状況】

平成 24 年度 意見交換会（四日市、津）

平成 26 年度 協力店を対象にアンケートの実施  
アンケートを基に意見交換会（四日市、鈴鹿市）

平成 27 年度 意見交換会（津市）

## (5) 居住支援冊子の作成

居住支援団体や協力店等を紹介した冊子を作成し、普及活動を行っています。

### 【取組状況】

- 平成 22 年度 鈴鹿・亀山版（日本語）
- 平成 23 年度 鈴鹿・亀山版（ポルトガル語）
- 平成 24 年度 四日市版（日本語、ポルトガル語）
- 平成 25 年度 鈴鹿・亀山版（日本語、スペイン語）、四日市版（日本語、スペイン語）
- 平成 26 年度 全県版（日本語）
- 平成 27 年度 伊賀・名張版（日本語）
- 平成 28 年度 伊賀・名張版（ポルトガル語）

## (6) 居住支援フォーラムの実施

各団体会員や関係団体構成員を対象とした研修会を開催しています。

### 【取組状況】

- 平成 27 年度 鈴鹿市（豊島区居住支援協議会の取組、国土交通省安心居住推進課による制度紹介）
- 平成 28 年度 四日市（空き家等既存ストックの活用と居住支援についての講演、国土交通省安心居住推進課による制度紹介）

## (7) 啓発物品の作成・配布

- ・配布用（ボールペン、携帯電話充電器、ティッシュ）
- ・幟旗（イベント等掲示用）
- ・プレート（協力店で掲示）

## 4 今後の主な課題

- (1) 現在の取組が北勢、中勢、伊賀名張の各地域に限られており、県域全体を対象とした展開が課題
- (2) 不動産協力店と福祉関係団体の連携について、居住支援連絡会の活動だけでなく、個別事例において対応が可能な体制となることが課題